中川だより

名古屋市立中川小学校
１１月号
令和５年１１月１日
https://www.nagoya-c.ed.jp/school/nakagawa-e/

笑顔いっぱい　夢いっぱい　仲間とともに　輝く明日へ！

子どもたちの「よさ」「光るもの」

日一日と秋の深まりを感じさせる季節の中、子どもたちは学校生活でたくさんの輝きを見せています。

先月行った学芸会においては『みんなが主役！笑顔あふれるステージに』のテーマの基、それぞれの子どもが自分の役に対して一生懸命に向き合っている姿、日々の授業の中における一人ひとりが自分のもつ力を発揮して頑張っている姿を見ていると、教育活動の中で意図的・計画的に、子どもたちが活躍し輝ける機会や場面をつくり、支援していくことの重要性を改めて感じます。

一方で、子どもたちは自分の思い通りにならず、自分をどのようにコンロールしてよいのか分からずに困っている姿や友達とどのように関わっていったらよいのか分からないといった姿も見せます。

どの子どもも「よさ」「光るもの」をもっています。子どもを育てる立場にある私たち大人は、それらを見逃してはなりません。つい、「よさ」「光るもの」よりもマイナス面を指摘しがちです。子どもが物事に一生懸命取り組んでいるとき、たとえ間違えがあっても、それを頭から否定してしまうような言葉掛けをすることによって、子どもたちの取り組む意欲は減退していくことにもつながります。子どもは、「どうして間違えたのか」「何がよくなかったのか」と反省するものです。むしろ「できているところ」「頑張っているところ」を褒め、認めながら、励ましの言葉掛けをし、次へ繋げる意欲をもたせたいものです。日ごろの子どもの何気ない言葉や動作・表情などから「よさ」「光るもの」を見付け、認め、励まし、よりよい方向へと導いていきたいと思います。

これからも本校の教育活動へのご理解とご協力の程よろしくお願いします。

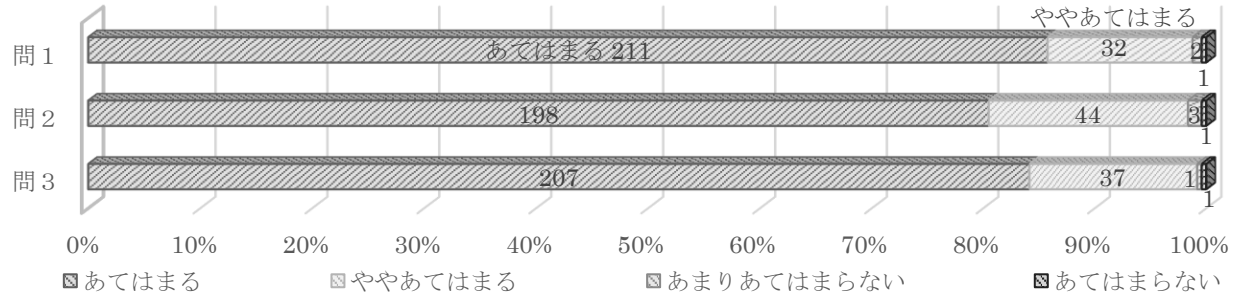
中川小学校長　武藤　敦

学芸会に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました！

久しぶりに入場制限なしの学芸会を開催しました。保護者のみなさまにおかれましては、ご多用の中、ご観覧いただきありがとうございました。また、学芸会アンケートにご協力いただきありがとうございました。次ページにアンケート結果をまとめましたので、お知らせいたします。

アンケート集計結果

問1：子どもたちは、楽しく学芸会の練習に取り組んでいましたか。
問2：子どもたちは、学芸会の練習を通して、協力することができていましたか。
問3：子どもたちは、練習や本番を通して、成長を実感したり、達成感を味わったりしていましたか。



問1から問3のすべての項目において、回答者数の98%以上が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答していることから、今年度の学芸会は、子どもたちや保護者の皆さまにとって満足のいくものになったと考えます。自由記述の欄にも、たくさんのご感想やご意見をいただきありがとうございました。主なものを以下に掲載させていただきます。

【ご感想】

・ 制限がなくなってからの学芸会、卒業した兄も観覧ができて、思い出に浸りました。それぞれが助け合い、フォローしている姿、優しさがあふれる学芸会でした
・ 学年ごとの優先席で見ることができてよかったです。
・ 子どもたちの楽しそうな様子が終始見られてよかったです。演出も凝っていて、見応えありました。
・ 緊張感をもちつつ、自分の役割を精一杯やろうとする気持ちが伝わってきて感動しました。
・ 毎日こつこつ学芸会の練習を頑張っていました。成長を感じられる一ヶ月間でした。
・「自分たちでどうしたらもっと楽しくなるのだろう、どうしたら見ている人に喜んでもらえるのだろうと意見を出し合ったりしたのだよ」と子どもから聞いて、成長を感じました。
・ みんなでアイデアを出し合い、子どもたちが主体的に学芸会に取り組めていた印象をもちました。
・ 高学年の演目を見て、戦争の悲惨さ、命の大切さを親子で話し合う機会も大変よい時間となった。
・ 各学年に見合った演目で子どもたちの生き生きした姿、歌声を楽しむことができ、見応えのある学芸会でした。
・ 先生方の努力と子どもたちの頑張りが伝わってくる学芸会でした。
・ 演技が得意な子も不得意な子もいると思いますが、みんなでよい劇にしようと、自分の演技を一生懸命に頑張る姿を見ることができました。これは、先生が子どもたちの力を限りなく引き出そうとする思いや声掛けが伝わった結果だと思います。劇を通して、子どもたちの成長を感じることができました。

・ 学芸会を通して、友達との絆をさらに深めることができ、よい思い出になったと思います。
・ とても楽しそうに家でも練習していました。当日も笑顔で歌う姿が見られてよかったです。
・ 劇が始まる前のナレーションや演奏なども子どもたちが担っていて、みんな一生懸命な姿がとても素敵でした。それぞれの学年の発表からいろいろなメッセージが伝わってきて、感動的でした。

【ご意見】

・ 学年優先席の座席が狭くて、見づらかった。
・ いつ入退室してもよいのか不明でしたが、入退室があると光が入るので、気になりました。
・ 来賓席と撮影スペースの間を出入り口にするのはよくなかった。撮影スペースの後ろを出入り口にするとよい。
・ 学年優先席の入れ替えの際に人が入り乱れている印象でした。何らかの動線を決めた方が円滑だったと思います。学年優先席に入る際にシールの色確認もなかったため、演技をしている次の学年の保護者が座っていたことも気になりました。
・ 学年優先席は椅子だとよかった。
・ 優先座席のルールを守れていない方がいたのが残念でした。
・ スマホやビデオカメラを座席で上げて撮影する方がいて、見えなかった。
・ 全学年配信があったらよかった。
・ 演目終了後、写真撮影することを許可するなら、そのようにアナウンスする方がよいと思われます。
・ 観覧制限するのであれば、受付時などに、しっかりと確認してほしい。
・ 写真販売、DVD販売があるとよい。
・ 入り口付近に立ち止まっている方がいたので、注意書きを表示するとよい。
・ 一人ひとりの出演時間に差があると思いました。
・ 前向きに取り組もうという気持ちをもっている子どもたちには、もう少し力を発揮できる場を与えてあげる配慮ができたのではないかと強く感じました。

学芸会に向け、学校だけでなく、ご家庭でも一生懸命練習していたことがアンケートから伝わってきました。また今年度は、前回の学芸会よりも、さらに子どもたちに考える場を多く与え、主体的に取り組ませ、「みんなが主役」になるように指導してきました。そのことが多くの保護者の方に、子どもの姿を通して感じていただき、うれしく思います。

座席について今年度は一般席と学年優先席、撮影スペースを設けさせていただきました。撮影スペースと出入り口の配置や学年優先席のあり方のご意見については、今後の行事での会場設営する際の参考にさせていただきたいと思います。

また出演や配役についてのご意見をいただきました。演劇の性質上、全員の希望を叶えることはなかなか難しい部分があるということ、子ども一人ひとりには、得意・不得意があることを踏まえて、配役を行ってきました。全員が思い通りの役にはならなかったと思いますが、与えられた役の中で、どう輝けるのか、自らアイデアを出し、みんなが主役として輝けるように、教職員一同指導してまいりました。今回、いただいたご意見を基に、今後も子どもたちを支援していきたいと思います。ご家庭でも、いろいろなことに、子どもが主体的に取り組めるよう、ご協力よろしくお願いします。